

議員提出議案第25号

サンフランシスコ市における慰安婦像設置及び
慰安婦の日制定について再検討を求める決議案

本案を別紙のとおり提出する。

平成29年9月27日

大阪市会議長 山下昌彦様

提出者

大出高杉片杉藤金岡	内雲見山山村田子田	啓輝幹一幸あき恵妥	治英亮人歩太郎美知	辻今岡改田伊竹佐	井崎発辺藤下々木	淳アツシ太秀広夏隆え	木飯下田ホンダ東丹市奥藤	哲里貴壮謙康寛	誠史エ之治太俊和	広上不井大守徳宮	田田破戸橋島田脇	和智忠正一	美隆幸利隆正勝希
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	------------	--------------	---------	----------	----------	----------	-------	----------

(別紙)

サンフランシスコ市における慰安婦像設置及び
慰安婦の日制定について再検討を求める決議

サンフランシスコ市議会において、慰安婦像及び碑の設置日を慰安婦の日に制定する決議案が2017年9月19日に審議、可決され、9月22日に、サンフランシスコ市に慰安婦像及び碑が設置された。

慰安婦問題に関しては、2015年12月に日韓両政府において、日本が多数の女性の名誉と尊厳を傷つけたとして責任を表明し、この問題を最終的かつ不可逆的に解決すること、そして今後国際社会において互いに非難・批判することを控えることで合意したところである。

過去の歴史的事実を直視し、普遍的な価値を持つ女性の尊厳と人権が戦場においても守られる世界を目指すための活動は大いに取り組むべきである。

しかしながら、サンフランシスコ市において慰安婦像及び碑文を設置し、それに合わせて慰安婦の日を制定することは、本市にとってこの合意の精神を傷つけるものであると言わざるを得ず、姉妹都市の議会として看過できるものではない。

このまま慰安婦像及び碑文が設置され、慰安婦の日が制定されたままであるなら、日本人及び日系人が多く住むサンフランシスコ市にとってもコミュニティー分断の原因にもなりかねず、将来的な両市の交流、日米関係にも悪影響を及ぼすのではないかと懸念される。慰安婦の日を制定する決議案の提案理由には、日本の慰安婦制度が人身売買への道を切り開いたといった事実と反するものがある。両市の間で誤った認識に基づいた関係が構築されるおそれがあり、それは悲劇的なことである。

サンフランシスコ市との友好の歴史は1957年に姉妹都市提携を結んで以来、60年の長きにわたり、両市代表団の相互訪問など交流を深めてきた。

直近では、平成27年10月に友好都市提携特別展を大阪市役所にて開催し、平成28年7月にはサンフランシスコ高校生アンバサダーが来阪され、また平成28年8月には、市長が世界のイノベーションを牽引するシリコンバレーを訪問し、サンフランシスコ市との連携強化を図るなど、着実な相互交流によってきずなを深めてきた経緯がある。

姉妹都市提携60周年を迎える記念すべき本年を契機に、議会としても将来にわたってさらに良好な信頼関係を構築していきたいと切に願うところである。

よって本市会は、サンフランシスコ市が、市の意思として慰安婦の日を制定し、慰安婦像及び碑を公有地に設置されようとしている状況について、再検討されるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成29年9月 日

大阪市会